

【大学間協定留学】 留学報告書

記入日	2024年6月10日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	法学部法律学科
留学(渡航)した時の学年	3年生
帰国年月日	2024年5月6日
明治大学卒業予定年月	2025年8月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ合衆国
留学先大学	南ユタ大学(日本語名) Southern Utah University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語 / 英語
留学期間	2023年8月～2024年5月
留学先大学で在籍した学年	1年生
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
形態	<input type="checkbox"/> 国立 <input checked="" type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月上旬～ 4 月下旬 3 学期: ~ 4 学期: ~
学生数	14,330
創立年	1897

留学費用

留学費用項目	現地通貨 (\$ドル)	日本円	備考
授業料	0	0 円	交換留学のため明治の学費のみ
宿舍費	6,000	900,000 円	以下 2 学期分 ダイニング 200 食含む
食費	1,000	150,000 円	基本的に寮にダイニングのプランがついていたため、食費はそこまでかからない
図書費	300	45,000 円	
学用品費	100	15,000 円	
携帯・インターネット費	300	45,000 円	9 か月分、月 10 ギガ
現地交通費	0	0 円	(<input checked="" type="checkbox"/> 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	300	45,000 円	
被服費	200	30,000 円	
医療費	0	0 円	
保険費	500	75,000 円	形態: 明治大学が提供したものを使用
渡航旅費	1,700	255,000 円	
ビザ申請費	405	60,750 円	
雑費	400	60,000 円	
その他	1,000	150,000 円	休暇での旅行
その他		円	
合計	12,205	1,830,750 円	

渡航関連

渡航経路

往路 出発地:成田空港 目的地:ハリウッド空港(ラスベガス) 経由地:仁川国際空港

復路 出発地:バンクバー 目的地:カルガリー 経由地:成田空港

渡航費用

① 往復チケットを購入した場合
航空会社:

料金:

② 片道ずつチケットを購入した場合
往路 航空会社:アジアナ航空 料金:130,000 円

復路 航空会社:West Jet 料金:120,000 円 ∴合計:250,000 円

航空券購入方法

旅行代理店(店名:)

インターネット(サイト名: Trip.com)

その他()

滞在形態関連

1) 種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舍等)

学生寮(寮の名前:CedarHall South) アパート ホームステイ

2) 部屋の形態

個室 相部屋(同居人数2)

3) 共有部分

バス トイレ キッチン(自炊可 自炊不可)

4) 住居を探した方法:

大学からの勧め

5) 感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

殆どの留学生はこの Cedar hall に住むことになるため、グローバルな友人ができやすい。この寮に住む場合は、必ず meal plan と呼ばれるものを購入して、基本的に大学内のダイニングで食事をするようになる。

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

なし

あり (治療を受けた場所:)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

なし

あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

特に事件なし。私のいた cedar city は、私の体感、日本と同じぐらい治安のいい地域であり、特に問題はなかった。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェではWIFI接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮のインターネットは問題なく、大学内でもwifiを使えるため、携帯の月のギガは5で十分。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開けて日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

海外で口座を作ったが、送金に多くの手数料がかかるため、日本から持っていたカードを使っていた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

1, 2枚にヒートテックを持っていくことをお勧めします。ただ、現地ではほとんどのものは入手可能なので、あまり心配する必要はありません。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計		本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
21 単位		<input checked="" type="checkbox"/> 14 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限		
<input checked="" type="checkbox"/> 出発前 <input type="checkbox"/> 出発後 <input checked="" type="checkbox"/> 派遣先大学の事務室 <input type="checkbox"/> オンライン <input type="checkbox"/> メール <input type="checkbox"/> その他() <input type="checkbox"/> 履修の制限があった:		
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人々へのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。		
履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Acculturation		文化変容
科目設置学部・研究科	SS	
履修期間	秋学期	
単位数	2	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に50分が3回	
担当教授	Michael Blake	
授業内容	留学生は必ず登録されるもので、新しい環境に適応するための授業。	
試験・課題等	毎週小さな課題があり、テストのようなものはほとんどない。	
感想を自由記入	出席してコメントなどの課題をこなしていれば単位は容易。授業内容は正直面白いものではないが、留学生の友人をつくることやその大学に慣れるのには役立つ。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Relations		国際関係入門
科目設置学部・研究科	政治	
履修期間	秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	講義 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に75分が2回	
担当教授	Michael Stathis	
授業内容	近代の政治学の変遷を学びつつ、時事ネタを取り入れた政治学の授業。	
試験・課題等	テストが 3 回、レポートが 2 回 出席点はなし	
感想を自由記入	世界史や政治に興味がある人におすすめ。先生が非常に面白く、アメリカの人々がどのように世界を捉えているかを知りたいのならばベスト。ただ、それなりにレポートに時間はかかる。テストは勉強すれば問題ない。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Torts	不法行為
科目設置学部・研究科	法律
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	オンライン (チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に50分が3回
担当教授	Carl Franklin
授業内容	アメリカの民法について体系的に学習
試験・課題等	毎週テキストのチャプターを一個ずつ進め、最後に問題を数十問解き、提出。
感想を自由記入	オンラインとはいえ、先生が映像を作るものではなく、テキストと常に向かい合うもの。テキストの内容は私が法学部所属なのもあり、興味深かったが、授業の形態は非常に退屈であり、お勧めしない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Communication in Human Interactions	人間間におけるコミュニケーション
科目設置学部・研究科	コミュニケーション
履修期間	秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に75分が3回
担当教授	Melissa Funk
授業内容	人間間のコミュニケーションに関する基礎的な部分から、個人的な経験に基づく、コミュニケーションの問題点。
試験・課題等	毎週の予習と復習、出席で評価。テストはオンラインだが、教科書を開いてもいいため、特に難しくはない。
感想を自由記入	先生が留学生に親身になってくれるため、初めてとる授業としては最適。授業内でほかの生徒と話す機会もあるため、英語に慣れない私にとってはとても助けになった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Bowling	ボーリング
科目設置学部・研究科	PE
履修期間	秋学期
単位数	1
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	実践(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に120分が1回
担当教授	Suzanne Affleck
授業内容	毎週 2 ゲームをし、先生から個別にアドバイスをもらう。
試験・課題等	出席 100%
感想を自由記入	この授業は大学から少し離れたボウリング場で行うため、車で一緒に行く友人がいない場合は、物理的に参加することが難しい。これ以外にも、ピクセルボールなど大学の敷地内などでやる pe のクラスがあり、英語を使う機会が欲しいならば 1 つとってみるのも悪くはない。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Personal Finance	個人ファイナンス
科目設置学部・研究科	Finance
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Karina Ballard
授業内容	ローンやカード、税金などの仕組みを学び、自身の最良のファイナンス計画を作る。
試験・課題等	毎週の復習課題、四回ほどのテストと一回のプレゼンテーション
感想を自由記入	アメリカ特有のものを学べる点は良いが、これから日本で生きていく私にとってはあまり有用ではないものもあった。ただ、自身のファイナンスを考え直す良い機会となった。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Web Development	WEB 開発
科目設置学部・研究科	Computer science
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 75 分が 2 回
担当教授	Laurie Harris
授業内容	0 からどのようにウェブを作るか学ぶ。
試験・課題等	毎週の課題と二回のテスト、一回のグループプレゼンテーション
感想を自由記入	プログラミングなどに興味はあるものの知識がまったくないひとにもお勧めです。テキストは基礎的なところから教えてくれるため、比較的やさしい授業だと思います。最後のグループで一つのウェブサイトを作るのは骨が折れますが、実のあるものになると思います。

履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
Business Law and Ethics	ビジネス法
科目設置学部・研究科	Accounting
履修期間	春学期
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	David Grant
授業内容	ビジネスに関する法やそれを巡る論争を先生が生徒を指名しながら説明する。
試験・課題等	テストが 5,6 回とレポートが 3 回。
感想を自由記入	習う内容自体はビジネスに関係する民法よりの法律であり硬い内容だが、先生がとてもフランクであり、面倒見が非常にいい。学期の最後にはピザパーティーを開催してくれ、将来の話などとても親身に来てくれた。法律に少しでも興味があれば、ぜひおすすめしたいクラス。

卒業後の進路について

1) 進路 ※3年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記2以降は記入不要)

就職 進学 未定 その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

キャリアセンター

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

これから就職活動を始める予定です。具体的には海運や貿易系を目指しています。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。(例: 留学中の就職活動に向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。) 就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先の確保、留学中の中間試験、期末試験、その他イベント等)

留学開始年の前年	1月～3月	
	4月～7月	TOEFL 対策
	8月～9月	出願準備
	10月～12月	専攻
留学開始年	1月～3月	
	4月～7月	ビザ出願、航空券購入、予防接種
	8月～9月	渡航
	10月～12月	留学秋学期
留学/帰国年	1月～3月	留学春学期
	4月～7月	帰国
	8月～9月	
	10月～12月	

留学体験記

※ この留学先を選んだ理由、留学生生活全般について、また、これから留学を志す後輩学生へのアドバイス等、自由に記入してください。

正直に話すと、アメリカでの留学を第一にしていたため、私が留学したSUUに決めた特別な理由はありませんでした。ただ、今思い返すと、この大学を選んで本当に良かったと思います。

まず、この南ユタ大学が位置するユタ州シダーシティはとても小さい町で、地域的なコミュニティが発達しています。そこにいる人々はとても暖かく、留学にきた我々を受け入れる体制は整っており、現地の方は快く迎え入れてくれました。例えばアメリカの大都市に行きたいと考えているのならば別ですが、特にこだわりがないのであればぜひこの大学をお勧めします。

英語で授業を受けることや生活することにも不安があるのならば、そこに関して深く考える必要はないと思います。確かに渡航したばかりの時は緊張し、英語が思うように使えないなどあると思いますが(実体験)、1,2 か月たてばすぐに慣れると思います。むしろ、そのような理由で皆さんには留学をあきらめてほしくないです。授業についていけないか不安があれば、担当の教員に自身が留学生で英語力に自信がない旨を伝えれば、先生方はそれを考慮し、親身に相談にのってくれます。

最後に、もし少しでもこの大学に興味をもったならば、ためらわず応募してみてください。きっと、大自然に囲まれたきれいな土地で、良い友人たちと巡り合えると信じています。